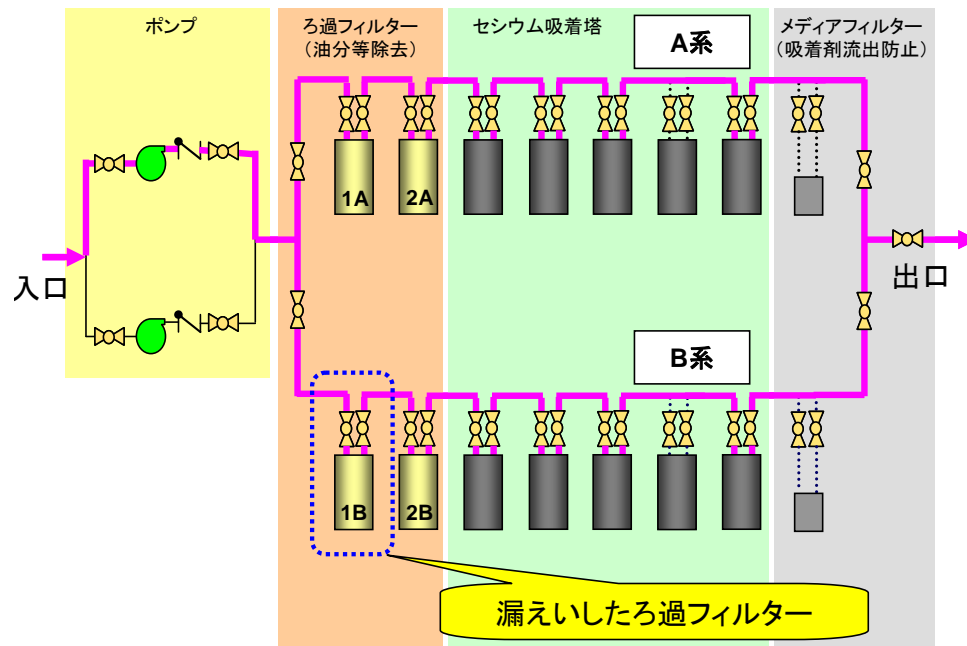


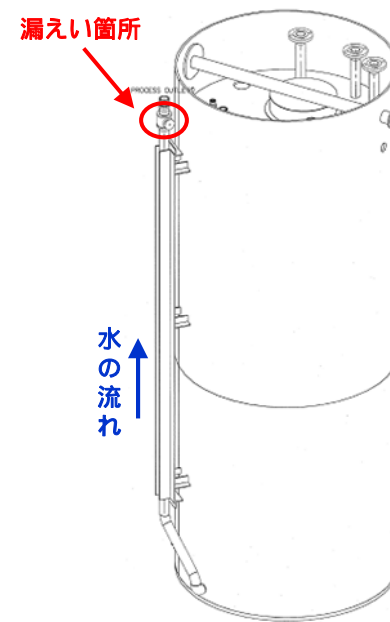
第二セシウム吸着装置（サリー）B系 ろ過フィルター弁溶接部近傍からの漏えいに関する調査状況（続報）

2月25日、午前8時30分頃に確認した、第二セシウム吸着装置（サリー）B系のろ過フィルター弁入口側溶接部近傍からの水漏れについては、2月26日に漏えいしたろ過フィルターの交換を行い、運転再開。3月2日の運転停止（計画停止）まで、問題なく運転継続していた。

2月28日、漏えい原因調査のため、漏えい箇所の配管内面についてCCDカメラによる状況確認を実施した。
<お知らせ済み>
今回、漏えい箇所の配管を切断し、更なる漏えい箇所の状況を調査した。



第二セシウム吸着装置(サリー)系統概略図



ろ過フィルター外形図



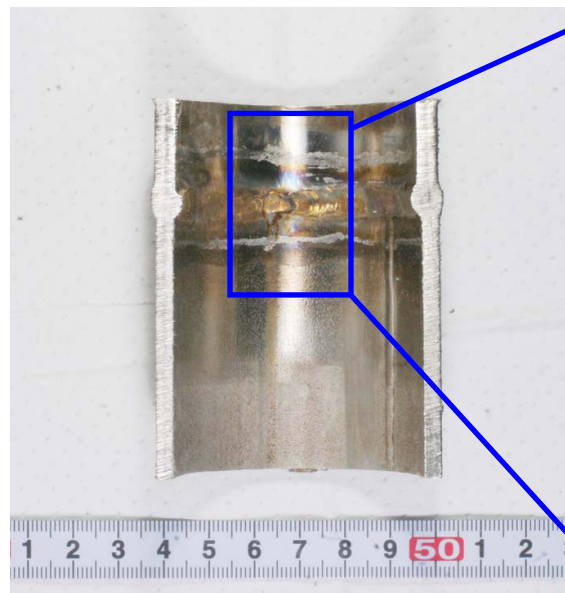
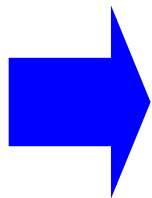
漏えい発生部

漏えい箇所断面観察調査結果



漏えい箇所

漏えい箇所 クラッド(水垢)等除去前

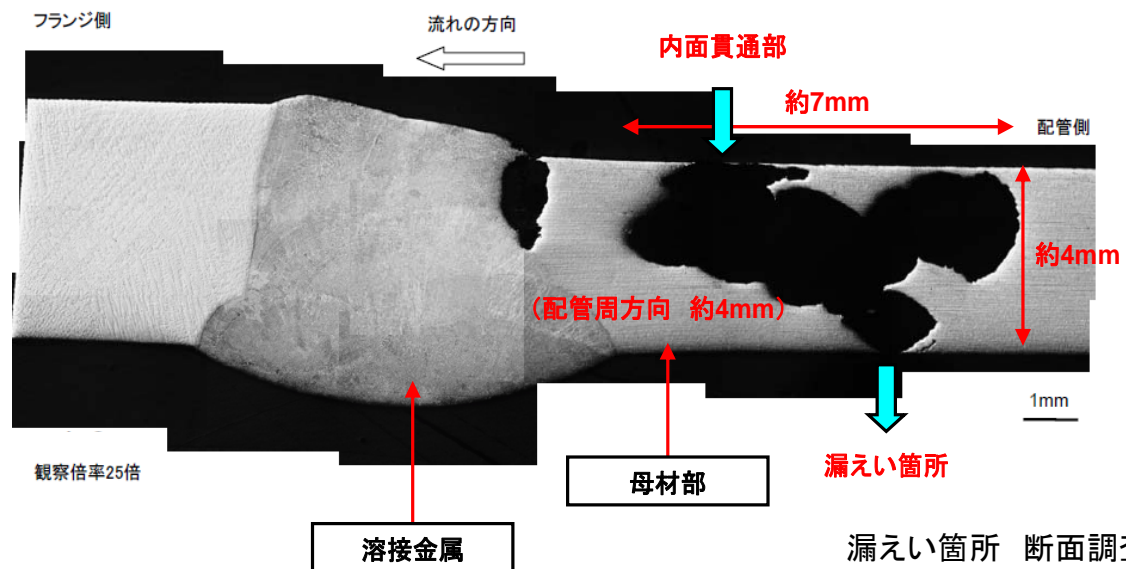


漏えい箇所 クラッド(水垢)等除去後



錆状堆積物の付着あり

拡大写真



漏えい箇所 断面調査

推定原因および類似箇所の点検結果

■推定原因

クラッド等を含む滞留水の通水により、クラッド（水垢）等が堆積し、腐食が発生しやすい環境を形成

クラッド等の堆積部（溶接部近傍の母材部）を起点とし、滞留水に含まれる塩化物イオンにより局部腐食（すきま腐食による腐食孔）が発生・進展し、板厚方向を貫通した結果、配管外面からの漏えいが発生

微生物によるフィルターつまり等の防止のため、系統に注入していた次亜塩素酸ソーダの影響で、より腐食しやすくなった可能性あり

■類似箇所の点検結果

<点検対象>

同形状のろ過フィルター（1A）、（2A）、（2B）出口配管溶接部

<点検結果>

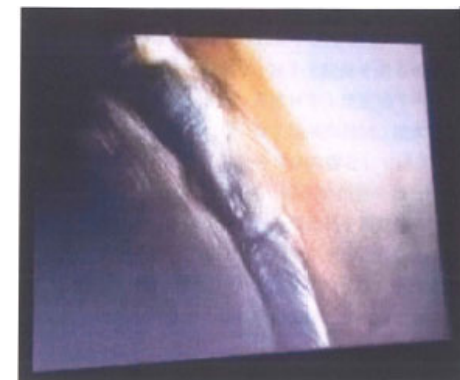
今回漏えいした箇所のようなこぶ状の付着物は確認されず（CCDカメラにて確認）
全体的に金属光沢が多く、赤褐色の付着物が少ない（CCDカメラにて確認）



ろ過フィルター1A弁取外し後



ろ過フィルター2A弁取外し後



ろ過フィルター2B弁取外し後

対策および今後の対応

■対策

当該フィルタと同形状のろ過フィルター（1A）、（2A）、（2B）交換
次亜塩素酸ソーダ注入の一時停止

腐食環境の更なる軽減のため、次亜塩素酸ソーダ注入を一時停止

フィルターのつまり等については、運転パラメータを継続監視

なお、第二セシウム吸着装置(B)系運転開始時（H23.8）と比較し、現在の塩化物イオン濃度は1/10以下に低下しており、今後も循環運転により、腐食環境が緩和

■今後の対応

配管部等の健全性確認を目的とした検査方法の検討

万一の漏えい発生に備え、漏えい拡大防止のため、バルブブラックやブースターポンプスキッドの配管部等にシート養生実施



シート養生設置状況